

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

周産期メンタルヘルスに対する無痛分娩の有用性についての検討

1. 研究の対象および研究対象期間
2018年4月～2021年3月に当院で分娩された方

2. 研究目的・方法

無痛分娩希望者が有痛分娩となった際に、エジンバラ産後うつ病自己評価票（Edinburgh Postnatal Depression Scale: EPDS）の高値を認め、産後うつリスクの上昇を認めたという報告があります。患者の希望外の分娩様式は、周産期メンタルヘルスに影響するといわれています。さらに分娩時疼痛をコントロールすることにより、産後メンタルヘルスに良い影響を与えることも知られています。

当院の無痛分娩は計画分娩で行われており、麻酔科医師の厳重な安全管理の下、平日のみ実施されています。そのため、無痛分娩希望者が休日に分娩になった場合には、有痛分娩になります。無痛分娩希望者が有痛分娩となった場合に、周産期うつ病のリスクが上昇するのか、パースプラン（自分の希望とする分娩様式）との相違は周産期メンタルヘルスに影響を及ぼすのか、調査をしたいと思っています。

本研究では、当院にて分娩を行った患者の妊娠分娩歴・分娩経過や赤ちゃんの出生状況、産褥期のEPDSや赤ちゃんへの気持ち質問票、無痛分娩に関するアンケート結果を調査・把握し、無痛分娩とメンタルヘルスケアの関係性を検討することを目的に、診療録より後方視的に研究することを計画しました。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、病院長の研究実施許可を得てから ～ 2030年 12月 31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報： 年齢や妊娠分娩歴、分娩週数や分娩様式などの分娩リスクや分娩転機。精神科の既往・治療歴や

家族背景やサポート状況など社会的項目。双胎妊娠、児の疾患、NICU入院歴や出生時体重など児の項目。無痛に伴う疼痛スケールや分娩に対するアンケート結果など。

※ いずれも、日常臨床で診断や治療のために用いた問診・検査所見です。

カルテ番号、生年月日、病理検体番号等の個人を特定しうる情報はすべて削除もしくは暗号化し、データのみを使用いたします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部産婦人科学講座） 研究責任者：助教・池袋真
住所：142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8 電話番号：03-3784-8550